

## 会 議 録

会議の名称	第5回飯塚市男女共同参画推進委員会
開催日時	平成30年3月6日(火) 15:00~16:00
開催場所	男女共同参画推進センター 学習交流室
出席委員	吉柳順一委員、萬田喜利委員、妻鳥幸子委員、高橋笑子委員、佐藤祐子委員、森本智賀子委員、白瀧登美子委員、前田美紀委員、梅野政則委員、小山治代委員
欠席委員	久原千景委員、久田幸子委員、山下弘美委員、芹田収委員、
事務局職員	男女共同参画推進課長、企画担当主査、事業係長
会議内容	<p>1. 【議題】</p> <p>(1) 平成29年度飯塚市男女共同参画推進委員会提言書について          &lt;吉柳会長より修正について説明、事務局より女性管理職の部分について補足説明&gt;</p> <p>Q: 女性管理職の割合が13.6%だとかなり目標に近いが、逆に頑張っているじゃないかという状況にならないようにしていただきたい。数字が上がってきたときに違和感があった。国から出ている分の2Pの表記を第4次計画どおりに記載するのであれば、3行目の「充実の観点から、業務統計を含む各種調査の実施に当たり」当選の当という漢字になっている。</p> <p>A: 正式な表記に修正する</p> <p>Q: 3Pの③の女性リーダーの育成は、各課においてどの程度の育成の計画をもってされたのか、13.6%になっているが、各課において努力された結果だと思うがその点は計画どおりにいったのか。</p> <p>A: ③は人材バンクの活用になる。人材バンクは現在17名の登録をいただいております、目標は20名程度を考えているが、今のところ17名である。人材バンクを活用していただくよう庁内全課に周知しており、必要に応じて閲覧ある。現在周知を図る所がまず第1歩と思っている。審議会等の委員を募集するときには組織の団体が優先される、要件が満たしておれば、人材バンクの活用というところに視点を置いていただき活用という手順になっている。</p> <p>Q: 以前、まだ女性の能力が足りないから今から育成しなくてはという意見があった、その点で各課努力されたのかと思った。</p> <p>A: 13.6%の所を仰っているのであれば、庁内の市役所内部の女性管理職登用になる。課の女性職員の管理職登用率に関しては人事課が管理し</p>

ており、各課の取組として人事課が庁内全体を見渡したところの目標値に向かった状況。第2次プランでは15%を目標にしており、29年4月1日は13.6%だが、前年の4月1日は9%代だった。ここは人的配置もあるが、この点にはかなりの伸び率になっている。

Q：女性管理職は各課で進言するのではなく、人事で決めているのか。

A：各課の課長が推薦はするが、個人を評価する中での推薦になる。それを人事課で全て網羅したところで、全体の状況を見ながらということになる。男性に特化、女性に特化ではなく、その方を評価したところになる。

この件について了承

事務局より提言書提出のスケジュールを説明

(2) 平成29年度男女共同参画推進センター管理運営状況について  
<事務局より資料2を基に説明>

Q：補助事業の定員の根拠は。第2次男女共同参画プランの中で「サンクスを知っている」という数値目標が16.7%から33.3あげて50%にしなければいけないことに対して策が考えられているのか。直接センターに対する意見とかがあった場合に意見箱の設置があるのか、今後そのような考えがあるのか。

A：推進講座では部屋の準備で目安があらうかと思う、部屋の定数と来た人の割合を出すために設けさせていただいた。補足説明として、講座の企画をしていただく際に何人規模での講座を目安に考えているのか確認させていただかないといけないが、今回出している定員は部屋の定員を挙げさせていただいている。企画が出た時点で何人を想定されているのかということは確認しなければいけないということを事務局で話をしており、その定員を記載すべきではないかと思っている。定員のギャップを感じられることのないような改善をしていかないといけないと思っている。

Q：センターの周知方策についても、建物の構造上コミュニティセンターの3階の1部分ということもあってコミュニティセンターというのは周知されているが、その中にサンクスがあるという位置づけが難しい。会場も男女共同参画推進センター、コミュニティセンター内ということにしているが、別物という風には受け取られていないと思う、情報誌サンクスや事業の広報、市報の掲載でも男女共同参画推進センターという表記をしているがうまく合っていないと思う。今年はお前講座を例年より少し多くさせていただいたが、来年はもう少し頑張ってお前講座にいかせていただきたいと思っているのでその際に施設がどこにあるのか、どの部分になるかという周知の仕方、直接言葉で伝えることに力を入れないと紙面上の周知ではなかなか難しいと感じてい

る。来年は直接説明という形で周知を図っていきたい。意見箱は特別にサンクス用というのではないが、市役所、公民館に市民の声という意見箱があるので、それを活用して色んな方の意見をいただきたいと思っている。行政全般への意見箱になっているのでぜひ活用いただきたい。

Q：サンクスに対して今まで意見はあったのか

A：意見はない

Q：意見箱そのものがどこに設置されてあるか

A：たくさん書類がある中で分かりにくいですが、公民館、支所、本庁にある。

Q：インターネットでも問い合わせがある情報推進課経由で、所管課が回答する形になっている。

Q：私は図書館にはよく行っていたが、委員になるまで知らなかった。図書館に来る人は多いので、そこで宣伝できればいいのでは。

A：会議室としての活用が多い、講座はしているが、先ほどとなりで会議をしていた会場も講座の会場として使っている。

この件について了承

(3) 第2次飯塚市男女共同参画プランの進行管理について

<事務局より資料3を基に次年度のスケジュールにも触れ、ある程度了承していただきたい旨を説明>

Q：男女共同参画に興味を持ってもらういい方法はないか、市報にも載せてあるが。

A：毎年定例的に3回は男女共同参画の記事を2ページ載せている。しかし、男女共同参画とはなど、問題点とか色々な情報を載せているが、こういうことをした方がいいというご意見をお聞かせいただければ反対に参考にさせていただきたい。

Q：今年コミセン祭りが日曜日であり、その中で毎年男女共同参画推進ネットワークでは展示をしている。今年は防災、避難所の問題など男女共同参画の視点で展示をさせてもらった。飯塚市の状況を、防災安全課とタイアップさせていただき、展示をしてもらった。ただ、コミセンまつりが市民にそれほど周知がいきわたっていない。図書館とか、一番市民に目立つ所にそういう展示とかをできるような状況を一緒に考えられるといい。進捗状況報告書については、この形の方が見やすくなった、29年度からこの2次プランの進捗管理を見ていくので、シンプルにしているが、30年、31年とやっていくときにはどうなっていくのか。

A：後期プランと同じような、前年度との比較ができるような形になる。

Q：いかに周知徹底が不足しているかというのを感じる。やり方を考えないといけないのは当然のことだが、出前講座積極的に地元地域に出て

	<p>アピールするというやり方があると思うので、委員のみなさんも地域で何かありましたらご協力をお願いしたい。</p> <p>○その他 なし</p>
会議資料	<p>① 次第</p> <p>② 資料1-1 平成29年度飯塚市男女共同参画推進委員会提言書(案)</p> <p>③ 資料1-2 平成29年度提言書修正一覧</p> <p>④ 資料1-2 平成29年度飯塚市男女共同参画推進委員会提言書(案)</p> <p>⑤ 資料1-3 平成29年度飯塚市男女共同参画推進委員会提言書(案)</p> <p>⑥ 資料2 平成29年度男女共同参画推進センター管理運営状況</p> <p>⑦ 資料3 第2次飯塚市男女共同参画推進プラン進捗状況報告書</p> <p>⑧ 情報誌サンクス</p>
公開・非公開の別	<p>① 公開      2 一部公開      3 非公開 (傍聴者なし)</p>
その他	